

第1章

2021（令和3）年度の 主な取組

2021（令和3）年度に行った環境保全施策の中で、特に力を入れた取組などを報告します。

1 地球温暖化対策を推進する

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活の中で環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

●住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成

本事業は、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー^{※1}設備や省エネルギー設備を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

<2021（令和3）年度実績> (): 2020（令和2）年度実績

助成対象設備	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	10万円 ^{※2}	23件 (34件)	22件 (33件)
家庭用燃料電池システム		5万円	12件 (28件)	12件 (28件)
家庭用蓄電システム		5万円	27件 (43件)	27件 (40件)
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		3万2千円	3件 (10件)	3件 (10件)
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）		2万円	16件 (15件)	16件 (14件)
マンション共用部LED照明		10万円	8件 (8件)	7件 (8件)
エコ住宅（東京ゼロエミ住宅及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス ^{※3} ）		30万円	7件 (3件)	7件 (3件)

※1 新エネルギー：太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。助成対象設備では、太陽光発電システム又は家庭用燃料電池システムを指します。

※2 太陽光発電システムの申請に加えて、その他の助成対象設備を申請する場合に、その数に応じて1万円ずつ加算。

※3 住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。

●地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策のために、一人一人が実践することができる省エネ・省資源の取組を区報や区ホームページで紹介する等の普及啓発を行いました。（普及啓発の詳細は第2章に掲載）

また、地球温暖化対策への区の率先行動として、区職員を対象に研修を実施するとともに、区の業務により排出する二酸化炭素排出量の削減に取り組みました。（区の取組実績については第4章に掲載）

さらに、世界共通の目標として位置付けられた脱炭素社会の実現に向け、区として、2050（令和32）年ゼロカーボンシティの実現を目指すことを表明しました。（詳細P15トピックス掲載）

2 ものを大切にして循環型社会を実現する

2015（平成27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）において食品廃棄物（食品ロス）の削減や海洋汚染の防止などが掲げられ、食品ロス削減や使い捨てプラスチック削減について世界的に関心が高まっています。

区ではこのような課題について普及啓発を図るとともに、区内の店舗や区民団体と連携して2R（リデュース・リユース）を推進しました。

●使い捨てプラスチック削減

プラスチックは非常に便利な素材ですが、一方でプラスチックごみによる様々な地球規模の問題が発生しています。近年は新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴い、使い捨てプラスチックの利用が増加傾向にあります。

そこで区では、使い捨てプラスチックの代わりに、紙や木などの素材でできた容器等での商品提供に変更した事業者を支援する「エコテイクアウト推進事業」とマイ容器を持参してテイクアウト料理を購入した客に割引する「マイ容器利用キャンペーン」を実施しました。

また、子ども向けの普及啓発として、リーフレットの配布や目黒区オリジナルキャラクターと一緒にプラスチックごみの問題や目黒区のリサイクルについて学べるアニメーションを制作し、配信を行っています。



<子ども向けリーフレット>

<目黒区オリジナルアニメーション>

●食品ロス削減

家庭で使いきれない未利用食品を集めて、福祉団体や施設に寄付するフードドライブ活動を支援するため、その手順などを解説したリーフレットを作成・配布し、区民団体等へのぼり旗や食品回収用ボックスの貸出を始めました。

また、食品ロス削減に取り組んでいる「食べきり協力店」の意見交換会や、フードバンク活動を行っているセカンドハーベスト・ジャパンから講師を招き、食品ロス削減講演会を開催しました。



<貸出用食品回収ボックス>



<貸出用のぼり旗>



<フードドライブリーフレット>

3 みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する

みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえるなど、多様な効用をあわせもっています。めぐろサクラ再生プロジェクトの一環として、桜の根を保護する柵の作製を駒場野公園のボランティア団体と地域の皆様とともに行いました。

また、生物多様性に関する取組として、毎年目黒川等で住民参加型の自然環境調査「いきもの発見隊」を開催していましたが、2021（令和3）年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。今後もみどりやいきもの大切さの普及・啓発を進めていきます。

●目黒のサクラを守る活動の取組

2020（令和2）年度にサクラ再生実行計画を作成した駒場野公園では約20種類の桜を楽しむことができます。また、園内ではボランティア活動が盛んに行われており、地域の皆様と一緒に桜を含めた植栽を維持管理しています。

2021（令和3）年10月には、園内の桜が地面の踏み固めにより弱ってきていることから、桜の根を保護するため、駒場野自然クラブの活動で保護柵の作製と設置を参加者やボランティア団体の皆様と協働で行いました。



＜完成した駒場野公園の桜の根の保護柵＞
柵の中に落ち葉を敷き詰め、桜の細い根を保護



＜ボランティア団体との保護柵の作製＞
保護柵には植栽の維持管理のために
伐採した木を使用

●「目黒川の生物調査」の実施

区民参加により区内の身近ないきものの生息状況を調べ、専門の先生の講義により自然や生物多様性の大切さについて学ぶイベント「いきもの発見隊」を毎年開催しています。

2021（令和3）年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、目黒川船入場で区職員研修として「目黒川の生物調査」を実施しました。目黒川船入場では、ミシシippアカミミガメやモクズガニなどの川のいきものを5種見つけました。



＜目黒川で魚を探す区職員＞

4 健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

住み心地のよいまちであり続けるためには、歩きたばこや吸殻等のポイ捨てなどを防止するためのモラルやマナーを一人ひとりが守っていくことが重要です。区では、「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例」を定め、区、区民、事業者などが、それぞれ主体的に協働してまちの環境美化に取り組んでいます。

●自由が丘駅周辺の喫煙環境の整備

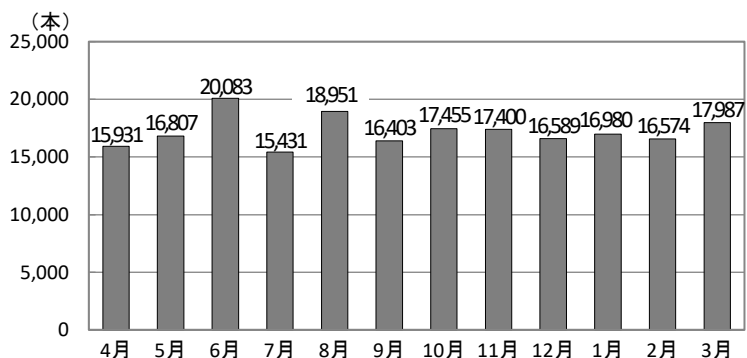
受動喫煙防止を図るため、2019（令和元）年度から、東京都の補助金を活用した「屋内型喫煙施設整備費補助事業」を開始し、2019（令和元）年度は、4駅周辺の民間事業所に6施設の屋内型公衆喫煙所を整備しました。2020（令和2）年度は、目黒区が事業主体となり、中目黒駅東側（旧中目黒アリーナ横公衆喫煙所跡地）に屋内型（コンテナ型）公衆喫煙所を整備しました。また、2021（令和3）年度は、自由が丘駅周辺の民間事業所に屋内型公衆喫煙所を整備しました。



＜自由が丘駅周辺の民間事業所内に整備された公衆喫煙所＞

●路上喫煙禁止啓発パトロールの実施

路上喫煙対策及びポイ捨ての抑止として、路上喫煙禁止区域である中目黒駅、自由が丘駅、学芸大学駅及び都立大学駅周辺などでパトロールを行い、路上喫煙禁止区域内であれば、路上喫煙者（喫煙所以外での立ち止まっでの喫煙を含む。）に対して、禁止区域であることを周知し、指導を行いました。また、路上喫煙禁止区域内外を問わず、啓発活動とたばこの吸殻の回収を行い、ポイ捨てをした者を発見した際には、条例上の禁止行為であることを周知し、ポイ捨て禁止を呼びかけるなど、路上美化推進のための取組を強化しました。



＜路上喫煙禁止啓発パトロールにおける
たばこの吸殻の回収本数＞



＜啓発パトロール風景＞

5 環境を守りはぐくむ人を育てる

地球規模で起こっている環境問題は、日常生活と深く関わっています。環境保全に取り組む人を育てるため、環境推進員養成講座を毎年開催していましたが、2020（令和2）・2021（令和3）年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。また区ホームページでの環境に関する情報の発信や、「めぐろグリーンアクションプログラム」の推進などを行いました。

● 環境推進員養成講座

この講座は、環境推進員養成講座の修了生が、企画委員となって企画運営を行っています。修了後は、「めぐろエコサポーター制度」へ登録することができ、講座の企画や会報の作成、ボランティア活動、自主グループへの参加など、実践の場が用意されています。これらの環境保全活動を1年間実践し、報告することで、「環境推進員」として登録されます。

2021（令和3）年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しましたが、2008（平成20）年度から2019（令和元）年度までの12期にわたって開催しています。



＜2019（令和元）年度 企画委員会の様子＞



＜2019（令和元）年度 食品ロスをテーマとした講座の様子＞

● 区ホームページでの環境情報の発信

区では、区ホームページなどを通して、環境関連情報を集積・発信する仕組みをつくり、情報提供を行っています。

「目黒区環境基本計画」を2017（平成29）年3月に改定した後、区ホームページ（もっと知りたい環境のこと）へのアクセス数は増加傾向にあります。今後も環境保全に関わる人を育てるとともに、環境配慮行動を推進するため、区ホームページに新たなコンテンツを作成するなど、環境に関連する情報の普及啓発や情報提供に、積極的に取り組みます。

なお、2021（令和3）年度のアクセス件数は、2,634件で、2020（令和2）年度より918件増加しました。

